Defi SUPER SPORTS CLUSTER

取扱説明書

品番 : DF06001 ターボ車用 9,000RPM スケール
DF06002 ターボ車用 11,000RPM スケール
DF06003 NA 車用 11,000RPM スケール

お客様様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書を必ずお読みいただくと共に必要なときにすぐに見られる場所に保管いただき正しいお取り扱い方法でご愛用いただけますようお願い申し上げます。

お客様登録について

本品の製品情報、アフターサービス情報をご登録いただきましたお客様にご案内させていただきます。保証書にお客様ならびに販売店のご署名をいただき、販売店より下記 FAX 番号に送信してください。Defi より登録受け付け完了の FAX を販売店宛に返信いたします。
返信させて頂くFAX 番号を必ずご記入の上お願いいたします。

取付業者様へ

本取扱説明書に記載の▼取付業者様専用の項目は取付説明書にも記載してあります。
必ずお読みになり正しい設定を行っていただけますようお願い申し上げます。

NS 日本精機株式会社

Defi お客様相談室 / 直通ダイヤル **(03)3835-3639** FAX**(03)3834-8116**

e−mail:**defi@nippon-seiki.co.jp**

【受付時間】**10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00**（土・日曜日、祭日、当社休日を除く平日）

Defi Web サイト **http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/**

'05.05−1

はじめに

安全・取り扱いに関するご注意

本製品はクローズドコース専用です。
下記の理由により道路運送車両の保安基準を満足できないため、公道は走行できません。お客様に下記内容をよく説明した上で販売、取り付け作業を実施してください。

・速度計は、容易に走行時における速度を確認できるものでなければなりません。
(= 常に表示していなければならない。)
DSSC は 3 ゲージ画面以外では任意に車速表示なしにできます。

・車速、走行距離計 (ODO メーター) は正しく指示しなければなりません。
DSSC は車両に合わせて設定でき、ユーザーが調整できるため、車速設定に誤差が生じると車速だけでなく ODO/TRIP メーターの誤差が累積します。

・お取り付けいただく車両の純正メーターの警告灯、インジケーターが全て作動する必要があります。
DSSC はターン L ,R、ハイビーム、ブレーキ、エンジンチェックワーニング表示、汎用インジケーター橙 × 1、赤 × 1 がメーターに内蔵されておりますが、多くの車では警告灯、インジケーターが不足します。

・車両に燃料計又は燃料残量警告灯がある場合は、燃料計及び燃料残量警告灯は正しく動作する必要があります。
DSSC は、設定時の給油ステップ (1,5,10L) と車両のタンク形状により精度が変わります。
(給油ステップを 1L にすると精度が 1 番高くなります。)

本製品は、自動車のユーザーがエンジンや燃料ラインのコンディションを知る上で、重要な情報源となる追加メーターです。取り扱いについては、本取扱説明書、ならびに取付説明書、取り付ける車両の整備解説書、配線図に示されている安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上でお使いいただけるようお願いいたします。本書で説明する製品の外観と仕様は改良により実際とは異なる場合があります。

純正メーターを外された事によるトラブルに関して当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
※近年の車両は純正メーターを外す事により様々な障害を引き起こす恐れがあります。
※純正メーターには車両に重要な車両制御機能や警告灯、インジケーターがあり、道路運送車両の保安基準に抵触する恐れがあります。

本取扱説明書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の3つのレベルで分類しています。
内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお使いください。

⚠ 危険　製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いことが想定される場合。

⚠ 警告　製品の取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負うことが想定される場合。

⚠ 注意　製品の取扱いを誤った場合、傷害を負う恐れが想定されるか、又は物的損害の発生が想定される場合。

⚠ 警告

- 本製品はお買い上げいただいた販売店で取り付けてください。個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。
- 本製品を絶対に改造や分解しないでください。故障や事故の原因となるだけでなく保証の対象外となります。
- 走行中は安全のため、本品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となります。
- 「メーターが動かない」などの故障状態や、「水などがかかった」「煙が出た」「変なにおいがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに電源コードを外し、販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となります。

⚠ 注意

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害に付きましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品によるデーターの破損につきましては当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

使用上の注意

本製品は安全に、正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。

確　認　「必ず行っていただきたい事」「必ず守っていただきたい事」を示しています。

確　認

- SD メモリーカードは SD メモリーカード付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 1GB より大きい SD メモリーカードはご使用できません。マルチメディアカードはご使用できません。
- SD メモリーカードは FAT または FAT16 でフォーマットしてからご使用ください。他のフォーマット形式でフォーマットされた SD メモリーカードをご使用になりますと、正常に動作しません。（FAT32 には対応しておりません。）
- SD メモリーカードを入れた状態でイグニッションキー ON したときは SD メモリーカードの状態を確認するため、オープニングモードが２秒程度遅く始まります。
- SD メモリーカードのファイルは作成日時が 2005 . 1 . 1　0 : 00 と作成されます。
- SD メモリーカード内のファイル数、使用容量が大きくなりますと、SD メモリーカードの読み込みなどの処理時間が遅くなります。
  64MB 以下の SD メモリーカードで、50 個以下のファイル数でご使用いただくと快適にご使用いただけます。
- SD メモリーカードの抜き差しはイグニッションキー OFF 時に行ってください。イグニッションキー ON 時に抜き差しすると、SD メモリーカード内のデータが破損する場合や SD メモリーカードを認識できない場合があります。
- P-LAP Ⅱを接続しラップ計測を行う場合、マグネットが複数あるサーキットでは、ラップカウントの開始位置が最初に通過したマグネットの位置になります。
- P-LAP Ⅱを接続しラップ計測を行う場合、コース上のマグネットセンサーは、縁石などを走行した場合に反応しない場合があります。この場合は実際の走行ライン上で反応するマグネット数を設定してください。
- P-LAP Ⅱをご使用の際は、車速が 0 の状態でスタンバイ状態にしてください。走行中にスタンバイ状態にするとマグネットを通過していないのに DSSC にラップ信号が入力され、DSSC はラップカウントを開始してしまいます。

目次

▼取付業者様専用
★機能を使用するにはオプションパーツを購入する必要があります。
◆機能を使用するには市販品を購入する必要があります。

1. 製品特長・仕様

1.1. 主な特長

◆ 自社製ステッピングモーター STS26A 採用による高精度・高レスポンスアナログメーターを実現

◆ 低反射ガラスの採用によりメーターへの映り込みを軽減

◆ 自社製有機 EL ディスプレイ（256 × 64 ドット）による高視認性と多機能表示を実現

◆ 独立したスイッチユニット（夜間照明付き：照明色アンバー）レーシンググローブを使用した際でも
操作しやすいスイッチの配置、クリック感をデザイン

◆ SD メモリーカード採用により長時間のデータ記録を実現（最大 9 時間 59 分 59 秒：1Mbyte 当たり約 9 分記録可能）

◆ 有機 EL ディスプレイの自動調光機能を搭載
メーター部にフォトセンサーを内蔵しあらゆる外光下にも追従するアルゴリズムを構築

◆ メーター本体専用コの字ステー付属（メーター取付けサポート用型紙付属）

◆ メインユニット専用取付け金具付属

◆ メインユニットのメーターアウトプットで Defi-Link Display VSD CONCEPT を接続可能

◆ 複数条件設定可能なコントロールアウト機能搭載

◆ メインセンサーハーネスによりエンジンルーム内でセンサー配線を可能にし車室内への配線をシンプル化

PAT 3019067　PAT 3019939　PAT 出願中

1.2. 製品仕様

表 示 内 容	表 示 範 囲	表示形式
ターボ計(TURBO)	-100～+200kPa ※3,4	アナログ
インマニプレス計(IN-MF.P.)	-100～+20kPa ※5	アナログ
タコメーター(REV)	0～9000rpm ※3	アナログ
	0～11000rpm ※4,5	アナログ
車速（SPEED）	0～400km/h	デジタル
油圧（OIL P.）◆	0～1000kPa	デジタル
燃圧（FUEL P.）★◆	0～600kPa	デジタル
油温（OIL T.）◆	0～150℃	デジタル
水温（WATER T.）◆	0～150℃	デジタル
TEMP-1★◆	0～150℃	デジタル
TEMP-2★◆	0～150℃	デジタル
排気温度表示（EXT. T.）★	0～1100℃	デジタル
電圧(VOLT)	10～15V	デジタル
ODO	000000～999999km	デジタル
TRIP	0.0～999.9km	デジタル
1周LAPタイム(Lap)	0分00秒000～9分59秒999	デジタル
G★ ※6	-2.0～+2.0G(2軸方向)	※6
スロットル開度 ※6	0～100％	※6
舵角◆ ※6	0～100％(左右方向)	※6
ペダルストローク◆ ※6	0～100％	※6
1回の連続記録時間(REC)	MAX 9時間59分59秒	デジタル

電 源 電 圧	DC10V～15V（12V車専用）
消 費 電 流	+B線 MAX 1.5A（暗電流 MAX 3mA）
	IGN線 MAX 0.2A
	ILM線 MAX 0.2A
動 作 温 度 範 囲	－20 ～ ＋60℃（湿度80％以下）
保 存 温 度 範 囲	－40 ～ ＋80℃（湿度80％以下）
対応スピードパルス※1	2・4・8・16・パルスフリー(FREE)
	FREE設定時 1,274～16,562pulse/km(2～26パルス相当)
対応気筒数	1・2・3・4・5・6・8
対応スロットポジションセンサー	ロータリーエンコーダ式（4k～12kΩ）：センサー入力範囲0～5V以内
対応舵角センサー◆	センサー入力範囲0～5V以内
対応ペダルストロークセンサー◆	センサー入力範囲0～5V以内
車速出力	車速入力に対し1/1～1/16分周した矩形波 ※2
コントロールアウト	オープンコレクタ出力(MAX 300mA)

★：機能を使用するにはオプションパーツが別途必要です。
◆：機能を使用するには市販品が別途必要です。

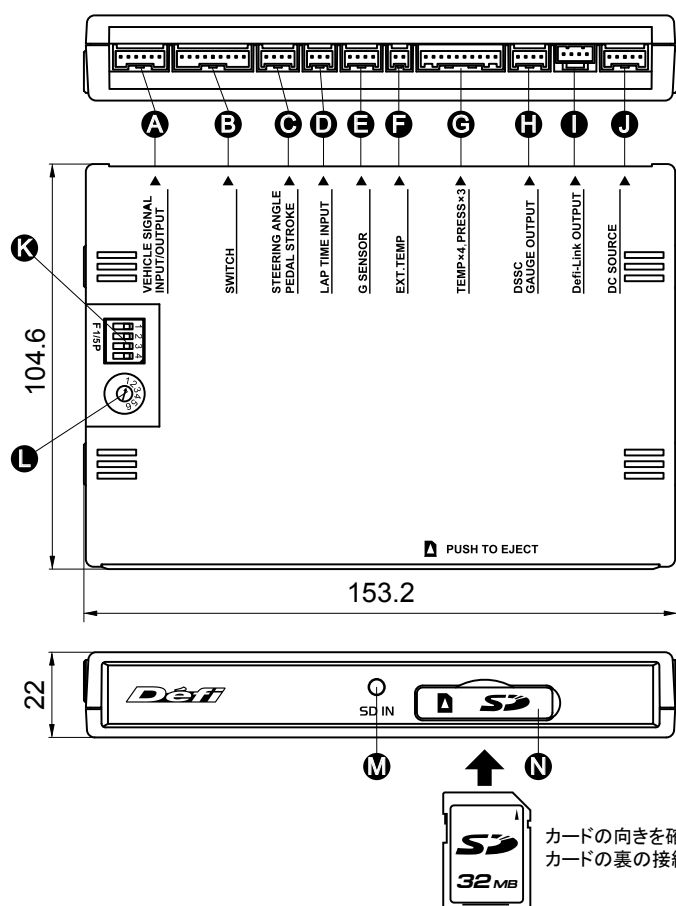
※1：車速信号波形が下図波形1パルスまたは波形2ピックアップのいずれかに該当することが条件となります。
　　またエンジン回転数信号波形が下図波形1パルスにおいてV1、V2を満足することが条件となります。
※2：分周はメインユニットのロータリースイッチで設定します。車速出力の分周は、下図波形2を入力した時のみ機能します。
※3：DF06001（ターボ車用/9,000RPMスケール）に適用
※4：DF06002（ターボ車用/11,000RPMスケール）に適用
※5：DF06003（NA車用/11,000RPMスケール）に適用
※6：メーターには表示されません。レックモード時にSDメモリーカードに保存されます。

2. 各部の名称

2.1. メーター本体の名称・サイズ

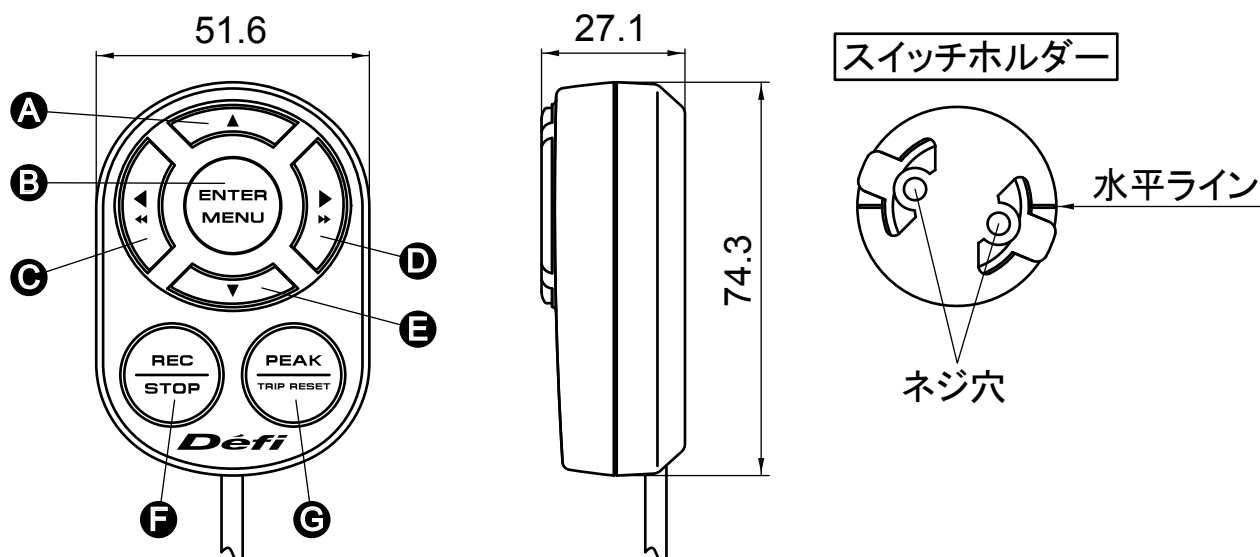
Ⓐ 汎用インジケーター1(橙)
Ⓑ ターボ(インマニ)計インジケーター(赤)
Ⓒ ターンLインジケーター
Ⓓ タコメーターインジケーター(赤)
Ⓔ ターンRインジケーター
Ⓕ 汎用インジケーター2(赤)
Ⓖ 調光センサー
Ⓗ ハイビームインジケーター
Ⓘ サイドブレーキインジケーター
Ⓙ チェックエンジンインジケーター
Ⓚ ターボ(インマニ)計
Ⓛ タコメーター
Ⓜ 有機ELディスプレイ
Ⓝ SDカードメモリーインジケーター◆
Ⓞ DSSCメーターハーネスコネクター
Ⓟ コの字ステー
Ⓠ タコメーターワーニング用インジケーターコネクター★
Ⓡ マスターワーニング用インジケーターコネクター★
Ⓢ 車両警告灯ハーネス用コネクター

★:機能を使用するにはオプションパーツが別途必要です。
◆:機能を使用するには市販品が別途必要です。

2.2.　メインユニットの名称・サイズ

Ⓐ 車両信号ハーネスA用コネクター
Ⓑ スイッチユニット用コネクター
Ⓒ 車両信号ハーネスB用コネクター★◆
Ⓓ ラップタイムユニット用コネクター◆
Ⓔ Gセンサー用コネクター★
Ⓕ 排気温度センサーハーネス用コネクター★
Ⓖ メインセンサーハーネスB用コネクター
Ⓗ DSSCメーターハーネス用コネクター
Ⓘ Defi-Linkメーターハーネス用コネクター※1
Ⓙ 電源ハーネス用コネクター
Ⓚ 燃料計センサー・車速入力設定用ディップスイッチ
Ⓛ 車速入力設定用ロータリースイッチ
Ⓜ SDメモリーカードインジケーター◆※2
Ⓝ SDメモリーカードスロット◆

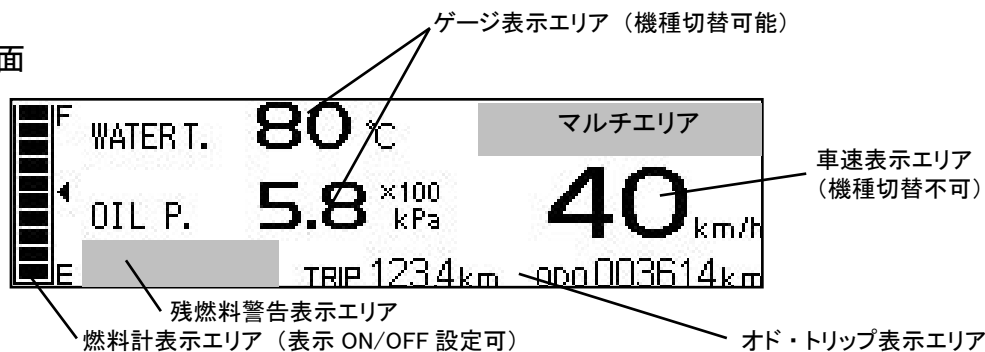
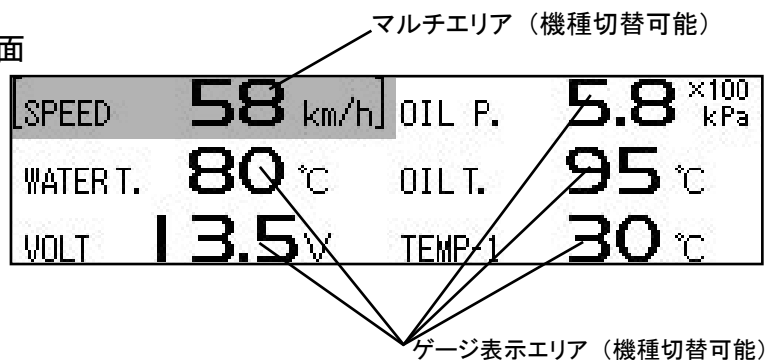
★:　機能を使用するにはオプションパーツが別途必要です。
◆:　機能を使用するには市販品が別途必要です。
※1：Defi-Link Display VSD CONCEPT1台のみが接続できます。
　　その他のDefi-Linkシリーズは接続できません。
※2：イグニッションキーオン時SDメモリーカードが挿入されていると常に点灯します。

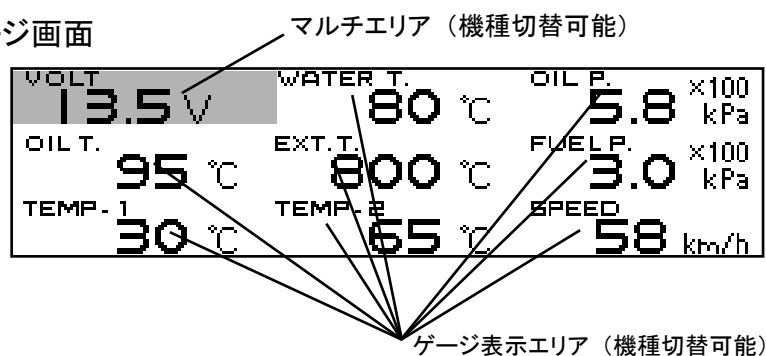
カードの向きを確認してください。
カードの裏の接続端子部に触れないでください。

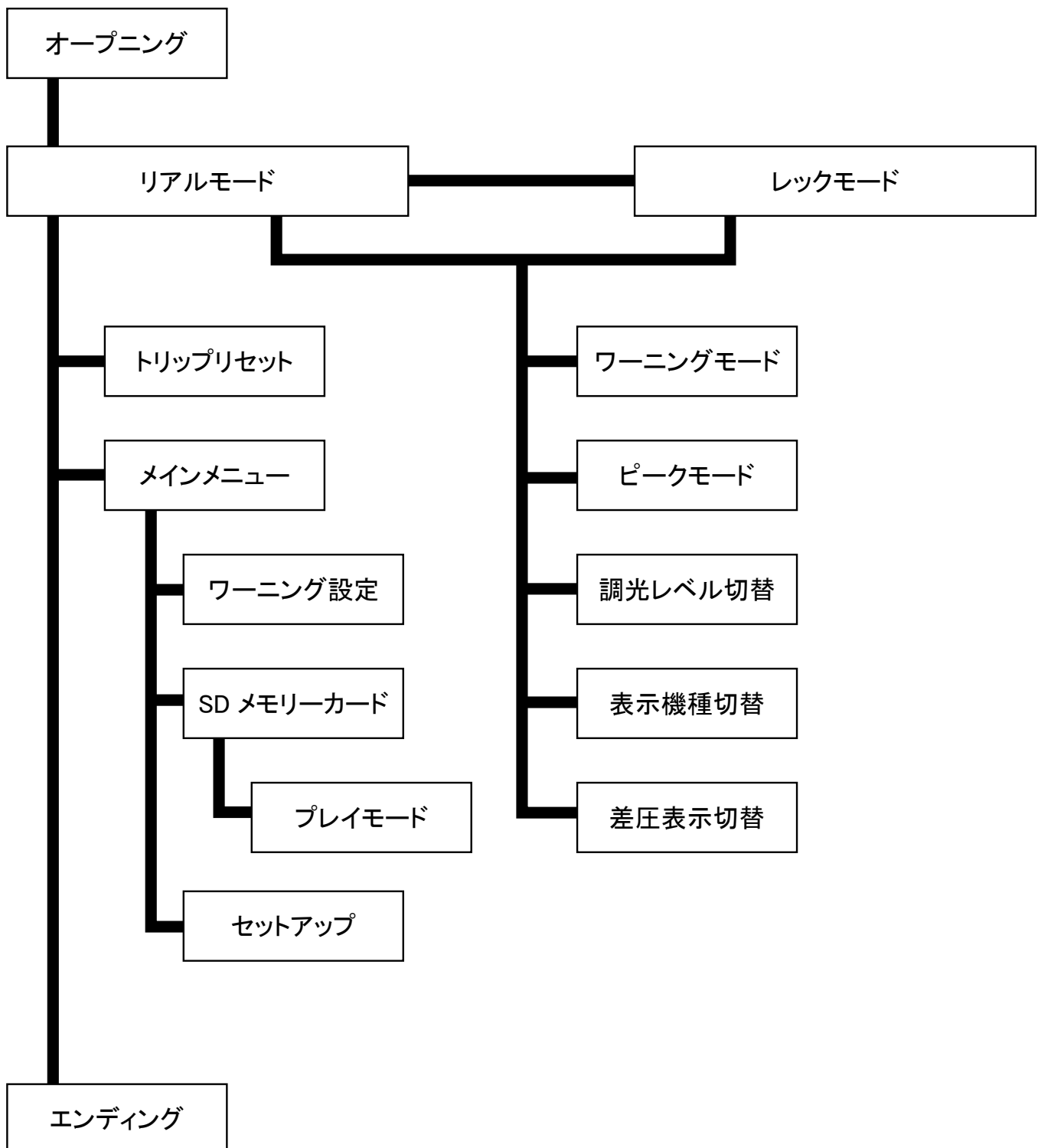
2.3.　スイッチユニットの名称・サイズ

Ⓐ UPスイッチ
Ⓑ ENTERスイッチ
Ⓒ LEFTスイッチ
Ⓓ RIGHTスイッチ
Ⓔ DOWNスイッチ
Ⓕ RECスイッチ
Ⓖ PEAKスイッチ

2.4. 画面名称

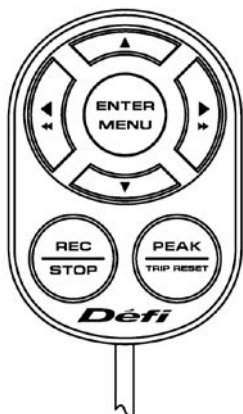
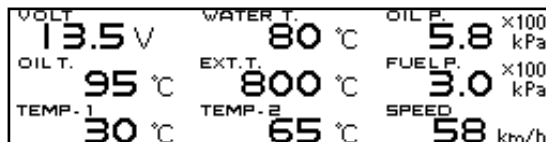
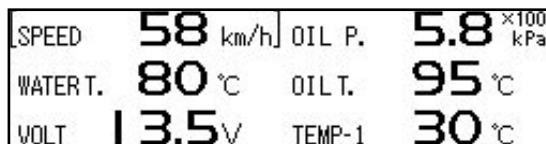
Defi スーパースポーツクラスターは下図の 4 画面で構成されています。（切り替え方法は 3.6. を参照ください）
各画面にはマルチエリアが設定されており、各機能表示やワーニングメッセージなどが表示されます。
※マルチエリアは常時表示ではありません。ワーニングやピークなど様々な情報が自動的に表示されます。

3 ゲージ画面

6 ゲージ画面

ラップ画面

オールゲージ画面

2.5. DSSC 状態遷移図

Defi スーパースポーツクラスターは下図の構造でシステム構成されています。

3. 各モードと基本操作

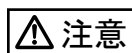
3.1　リアルモード

リアルモードとは、入力されている各機種の値をリアルタイムに表示するモードです。

リアルモードでのスイッチ操作

▲（UP）	ディスプレイ輝度調整 ラップ画面での長押しで Best Lap、B-Max SP、前回周ラップをクリア
▼（DOWN）	ディスプレイ輝度調整 ラップ画面での長押しでラップカウントストップ
◀(LEFT）▶(RIGHT）	表示画面切替 (3.6. 参照)、RIGHT,LEFT 同時押しで差圧表示（D マーク）
ENTER	表示機種切替 (3.7. 参照)、長押しでメインメニューへ移行
REC	レックモードへ移行（ラップカウントスタート）
PEAK	ピークモードへ移行、長押しで TRIP リセット

3.1.1.TRIP リセットするには

PEAK スイッチ長押しで TRIP リセットされます。（全ての表示画面で TRIP リセットされます）

3.1.2. ワーニング発生時の動作

⚠ 注意　お客様のワーニング設定によりワーニング発生ポイントは変わります。車両のコンディション、走行環境を十分考慮の上、設定してください。なお、ワーニングメッセージの有無にかかわらずメーターの表示を監視してください。車両破損の原因となります。

A：オートワーニング設定 ON の場合（オートワーニング設定は 4.3.6. 参照）
ワーニング発生時に自動的にワーニングモードへ移行します。
オートワーニング設定を ON に設定している状態で、リアルモード、レックモードでワーニングが発生した場合に表示されます。ワーニングが解除された場合はワーニングモードも解除されます。

※ワーニング表示の際はマルチエリア（左上）にワーニングタイトルが表示されます。

ワーニングモードでのスイッチ操作

▲（UP）▼（DOWN）	無効
◀（LEFT）▶（RIGHT）	リアルモードへ移行
ENTER	リアルモードへ移行
REC	レックモードへ移行（ラップカウントスタート）
PEAK	ピークモードへ移行

ワーニングモードでの表示機種

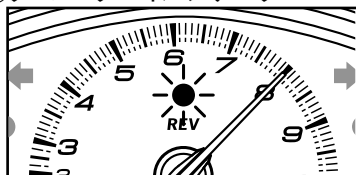
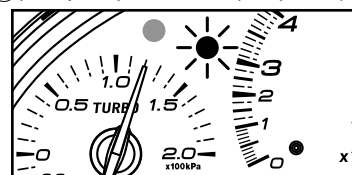
ワーニングモードではオールゲージ画面が表示され、表示される機種の位置はオールゲージ表示時に設定された状態になります。

Ｂ：オートワーニング設定 OFF の場合

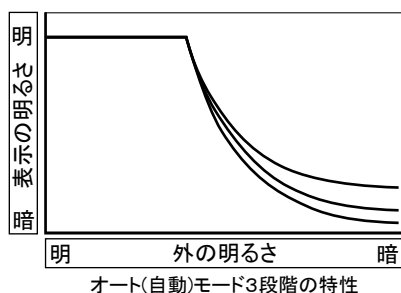
ワーニングが発生してもリアルモードのまま、ワーニングが発生した機種が反転表示されます。
表示されていない機種がワーニングになった場合は、マルチエリアに表示されます。

確　認

タコメーターがワーニング状態になった場合は、メーター文字板の①タコメーターインジケーター（赤）が点滅し、
タコメーターのバックライトが赤く点滅します。（タコメーターのバックライト点滅は昼間見えにくい場合があります）
タコメーターのワーニングはディスプレイには表示されません。
ターボ / インマニメーターがワーニング状態になった場合は、メーター文字板の②ターボ / インマニメーターインジケーター（赤）が点灯します。
ターボ / インマニメーターのワーニングはディスプレイには表示されません。
タコメーターがワーニング状態になった場合は、タコワーニング用コネクタ（メーター裏）にワーニング出力されます。
タコメーター以外の機種でいずれか一つでもワーニング状態になった場合は、マスターワーニング用コネクターにワーニング出力されます。(オプションパーツ：Defi-Link Indicator , Defi-Link IndicatorⅡを接続している場合点滅します）
車速はワーニング表示しません。

①タコメーターインジケーター LED 点滅

②ターボ / インマニメーターインジケーター LED 点灯

燃料がワーニング設定値以下になると残燃料警告（EMPTY 表示）が残量警告表示エリアに表示されます。

3.1.3. ディスプレイ表示輝度を調整するには

UP, DOWN スイッチでディスプレイの明るさを変更することができます。
セットアップモードのディマー設定でオート､マニュアルを選択できます。（4.3.8. オートディマー設定参照）
オート：3 段階のレベルと MAX 輝度固定の4段階（イルミ連動はしません）
マニュアル：5 段階（イルミON時、OFF 時共に）

オート(自動)モード3段階の特性

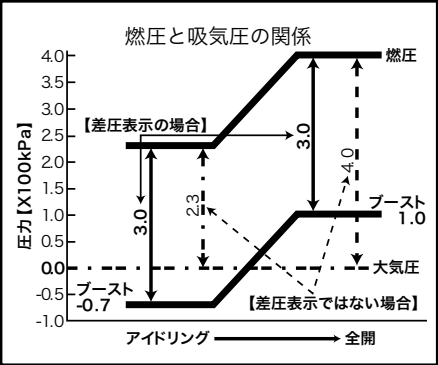
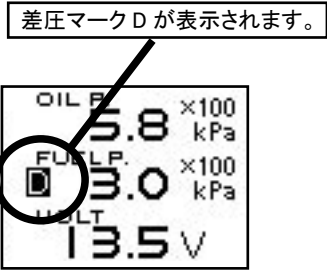
マニュアル輝度	昼	夜
Level 5	100%	100%
Level 4	82.5%	40.0%
Level 3	68.4%	13.3%
Level 2	56.4%	6.7%
Level 1	45.3%	3.3%

3.1.4. ラップ表示をするには

※ P-LAPII と接続している状態でラップ信号入力があった場合、または REC スイッチを押してレックモードになった場合にラップカウントをスタートします。オートレック設定（4.3.14.）を ON に設定している場合は車速信号入力があった場合に自動的にレックモードに移行し、ラップカウントをスタートします。リアルモードでラップ表示中に DOWN スイッチを長押しとラップカウントを停止します。
※ P-LAPII はティエージー・アミ株式会社の商標です。

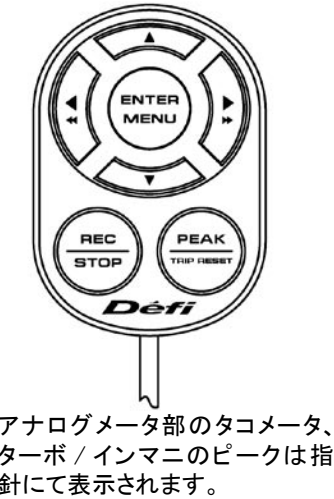
3.1.5. 差圧表示するには★

ターボセンサーと燃圧センサーが正常に動作している場合に RIGHT, LEFT スイッチを同時に押すと、
燃圧の表示が、燃圧値からターボ値またはインマニ値を差し引いた差圧表示になります（D マーク表示）。

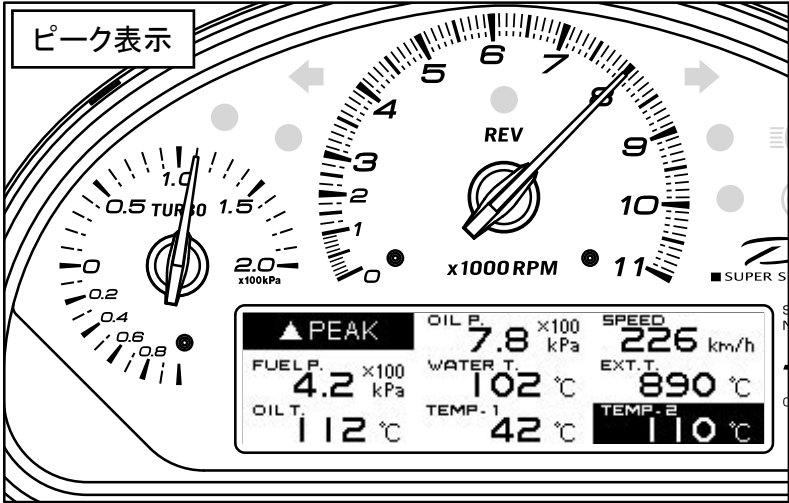
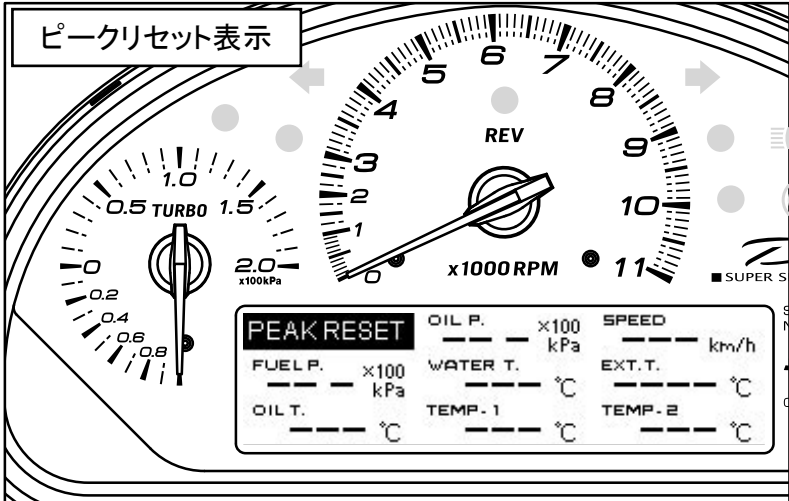
差圧マーク D が表示されます。

燃圧の差圧表示について

一般的な電子燃料噴射制御車では、燃圧は、プレッシャーレギュレーターという装置により、インテークマニホールド圧に対して燃圧が一定になるよう設定されています。左記の図で燃圧を 300kPa で設定した場合、差圧表示を行わない燃圧計では、ブースト 100kPa の時 400kPa を表示します。差圧表示を行うと、300kPa と表示されます。

3.2. ピークモード

各機種のピーク値（最大値）を表示します。ピーク値がワーニング設定値を越えている機種は反転表示されます。
ピークモードではオールゲージ画面で設定された機種の配置で表示されます。
※ピーク / ピークリセット表示の際はマルチエリア（左上）にピーク / ピークリセットタイトルが表示されます。

ピークモードでのスイッチ操作

▲（UP） ▼（DOWN）	ディスプレイ輝度調整
◀（LEFT） ▶（RIGHT）	無効
ENTER	ピークリセット
REC	レックモードへ移行
PEAK	リアルモードへ移行

アナログメータ部のタコメータ、ターボ / インマニのピークは指針にて表示されます。

ピークリセット時アナログメーター部は右図の様になります。

ピークリセット表示は 1 秒右図の様な表示となりリアル表示に戻ります。

3.3. レックモード◆

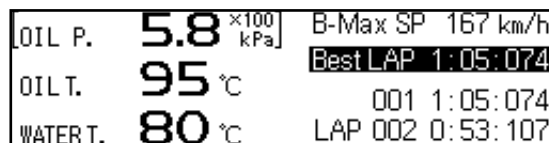
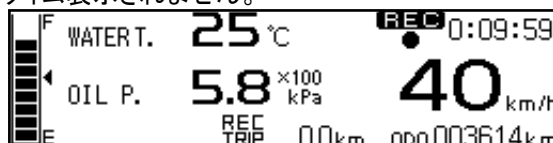
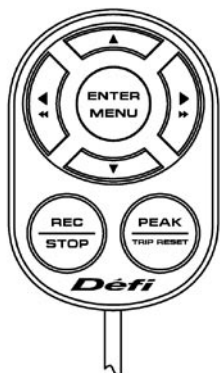
レックモードとは、リアルモードまたはピークモードで REC スイッチを押した場合、またはオートレック設定 ON 時に5km/h 以上の車速信号入力があった場合にレックモードに移行し、走行データを SDメモリーカードにデータを記録するモードです。3ゲージ、オールゲージ画面ではレックタイム表示されますが、6ゲージ画面、ラップ画面ではレックタイム表示されません。

●レックモード時の TRIP 積算例

レック前の TRIP が 100.0km

レックモード時に TRIP 表示は REC TRIP0.0km となります。

32.4km レック走行した場合 TRIP/ODO に積算されます。

リアルモードに戻るとレック前の 100km に 32.4km が積算されます。

レックモードでのスイッチ操作

▲(UP) ▼(DOWN)	ディスプレイ輝度調整
◀(LEFT) ▶(RIGHT)	表示画面切替 (3.6. 参照)、RIGHT, LEFT 同時押しで差圧表示（D マーク）
ENTER	表示機種切替 (3.7. 参照)
REC	記録を終了しリアルモードへ移行（ラップカウントストップ）
PEAK	記録は継続のままピークモードへ移行

3.3.1. ワーニング発生時の動作

A：オートワーニング設定 ON の場合
　ワーニング発生時に自動的にワーニングモードへ移行します。

B：オートワーニング設定 OFF の場合
　ワーニングが発生しても、レックモードのままワーニングが発生した機種が反転表示されます。
　表示されていない機種がワーニングになった場合は、マルチエリアに表示されます。

3.3.2.SD メモリーカード記録データファイル

SD メモリーカードをメインユニットの SD メモリーカードスロットに差し込むと、Defi フォルダが作成されます。
SD メモリーカード内の Defi フォルダ中のデータファイルのファイル名は SSC00001.dat から始まります。記録をする度にファイルのシリアル番号が1ずつ増え、新しいファイルが作成されます。
最大 999 個のファイルが Defi フォルダ内に記録できます。
SD メモリーカードの容量がいっぱいの時、または SSC00999.dat が Defi フォルダ内にあると、SD メモリーカードファイルエラー表示（5.3.SD メモリーカードエラー参照）がされ、それ以上記録できません。PC などでデータファイルを待避してご使用ください。

3.3.3. データファイルに記録される内容

下記の値について 0.02 秒毎に記録されます。（4.2.SD メモリーカード 確　認 を参照ください）

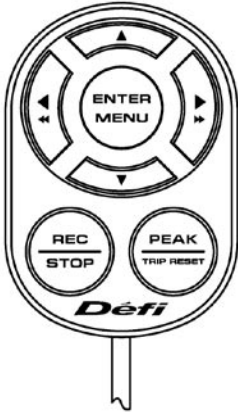
❶エンジン回転数 ❷ターボまたはインマニ ❸車速 ❹油圧 ❺燃圧 ❻油温 ❼水温 ❽ TEMP1 ❾ TEMP2
❿排気温度 ⓫スロットル開度 ⓬ステアリング舵角⓭ペダルストローク ⓮ラップタイム ⓯周回数
⓰記録開始してからの走行距離

※⓫スロットル開度 ⓬ステアリング舵角 ⓭ペダルストロークのデータはメーター内には表示されません。

確　認

レックモードで 1 回の記録の最大記録時間は 9 時間 59 分 59 秒です。ただし、SD メモリーカードに空き容量がなくなった場合は、途中で記録が終了します。
SD メモリーカードが入っていない場合、または容量がない場合は記録できません。
SD メモリーカードをご使用の際は必ず FAT または FAT16 でフォーマットされた物をご使用下さい。他のフォーマット形式でフォーマットされた SD メモリーカードをご使用になりますと、正常に動作しません。
(FAT32 には対応しておりません。)
レックモード中に SD メモリーカードを抜くと、SD メモリーカード内のデータが破損する場合があります。
※ PC でフォーマット形式を選択し FAT または FAT16 フォーマットでフォーマットしてください。
1GB より大きい SD メモリーカードはご使用できません。マルチメディアカードはご使用できません。

3.4. プレイモード

メインメニュー（4. 参照）の SD メモリーカードを選択し、データ再生で再生したいファイルを選択すると、記録した走行データをプレイすることができます。

プレイモードでのスイッチ操作

▲（UP）　▼（DOWN）	ディスプレイ輝度調整
◀（LEFT）▶（RIGHT）	表示画面切替 (3.6. 参照)、RIGHT, LEFT 同時押しで差圧表示（D マーク）
ENTER	ポーズ（一時停止）に移行、長押しでリアルモードへ移行
REC , PEAK	無効

⚠ 注意

プレイモードは車両が停車した状態でご使用ください。走行中ですと、車速などのリアル値が表示されません。

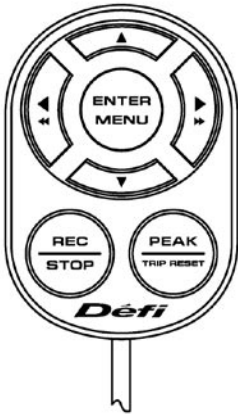
確　認

プレイモード中に表示される TRIP 値は、記録開始した時点からの走行距離です。
プレイモード中は積算距離表示（ODO メーター）が表示されません。

※ METER OUTPUT に Defi-Link Display VSD CONCEPT を接続した場合の仕様は下表の様になります。

DSSC 動作モード	車速入力状態	VSD CONCEPT 動作モード
レックモードへ移行	0km/h	プレイモードへ移行
	1km/h 以上	レックモードへ移行
プレイモードへ移行	0km/h	プレイモードへ移行
	1km/h 以上	レックモードへ移行

3.5. ポーズモード

プレイモードで ENTER スイッチを押すと、ポーズモード（一時停止）に移行します。ポーズモードではコマ送り、コマ戻し、早送り再生ができます。

ポーズモードでのスイッチ操作

▲（UP）　▼（DOWN）	ディスプレイ輝度調整
▶（RIGHT）	コマ送り、長押しで早送り
◀（LEFT）	コマ戻し
ENTER	プレイモードへ移行、長押しでリアルモードへ移行
REC , PEAK	無効

確　認

早送り再生は3倍速となっていますが、ファイルサイズの違いにより再生速度が変化する場合があります。
0.02 秒でデータが保存されます。コマ送り、コマ戻しは 1 回のスイッチ操作で 0.02 秒毎に動きます。
（50 回の操作で 1 秒）

3.6. 表示画面を切り替える

リアルモード、レックモード、プレイモードで LEFT スイッチまたは RIGHT スイッチを押すと、表示画面が切り替わります。

◀LEFT スイッチ

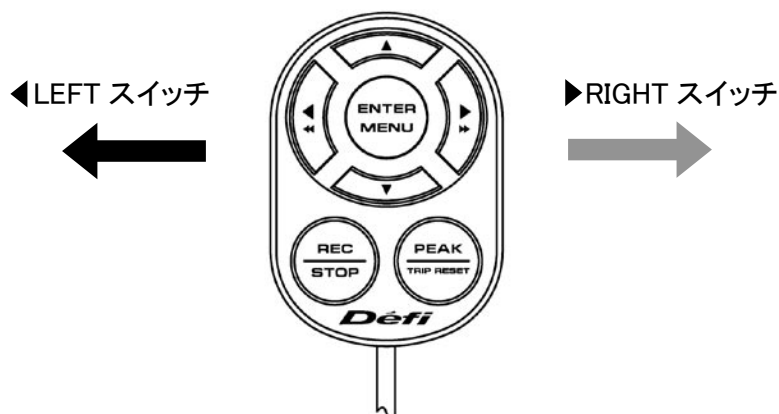
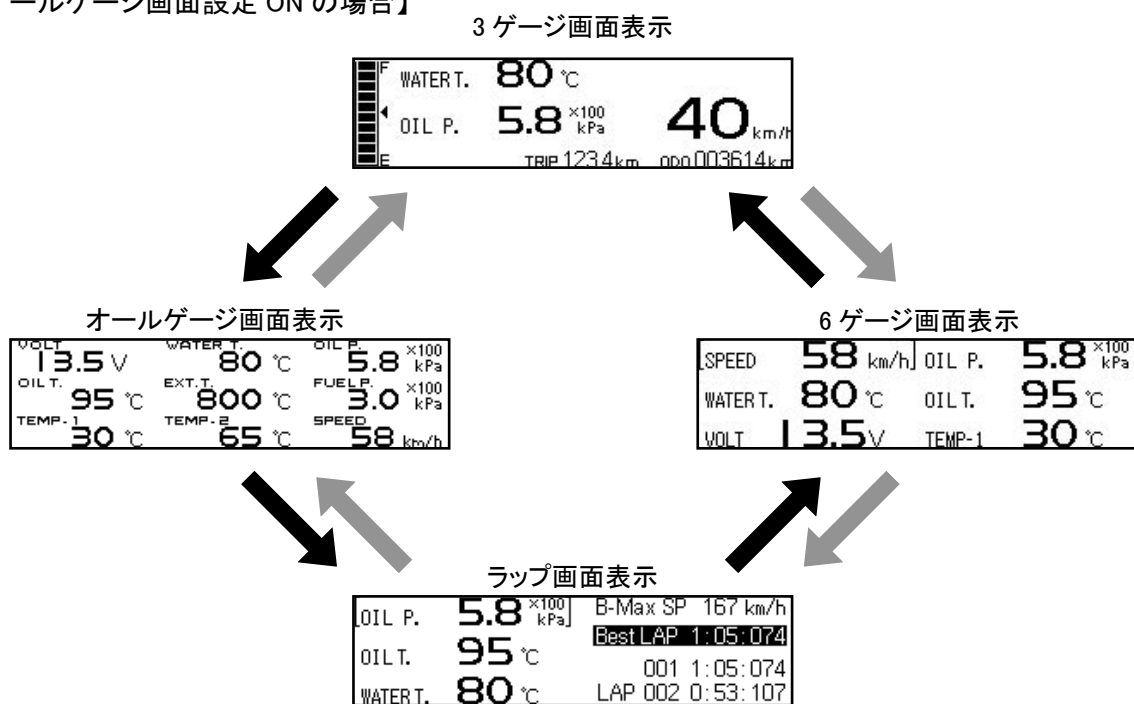
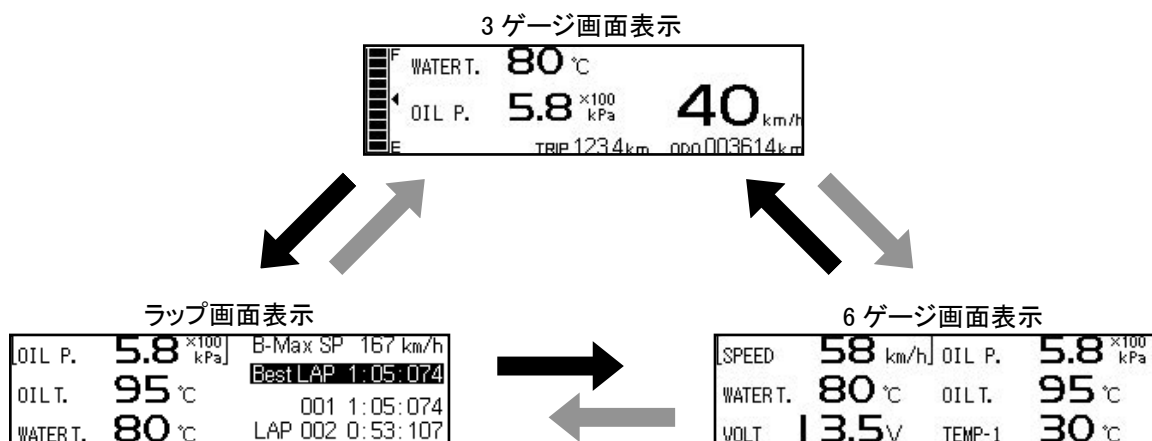
▶RIGHT スイッチ

【オールゲージ画面設定 ON の場合】

3 ゲージ画面表示

オールゲージ画面表示

6 ゲージ画面表示

ラップ画面表示

【オールゲージ画面設定 OFF の場合】

3.7. 表示機種を切り替える

リアルモードまたはレックモードで ENTER スイッチを 2 秒以内押し、UP, DOWN, RIGHT, LEFT スイッチでカーソルを動かし、変更したい位置で ENTER スイッチを押します。

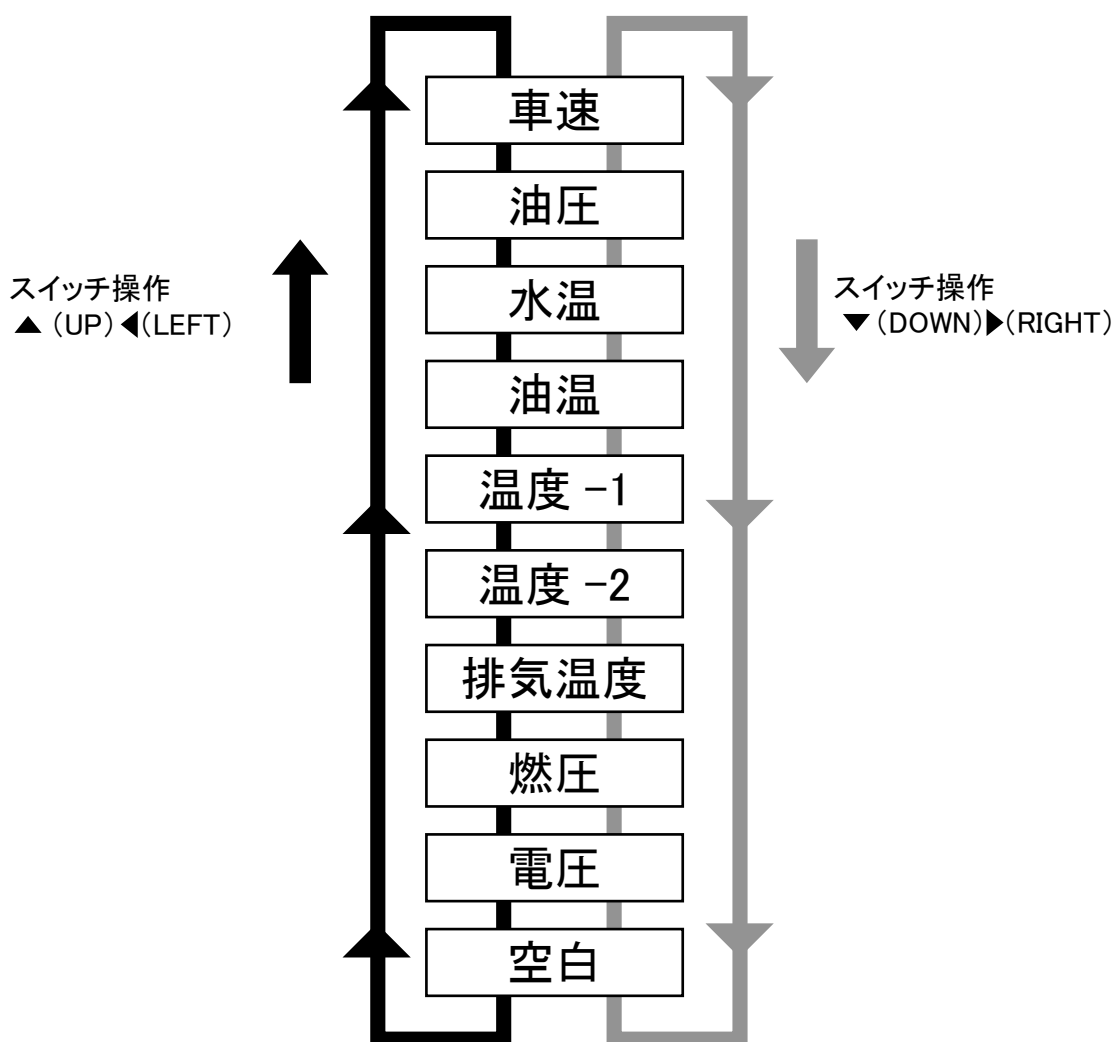
UP, DOWN, RIGHT, LEFT スイッチで表示したい機種を選択し、ENTER スイッチで決定します。
※機種選択時に空白を選択することもできます。
※空白を利用することで表示ゲージを少なくし必要最小限の表示が可能となります。

表示機種切換を終了する場合は、ENTER スイッチを 2 秒以上長押しします。

表示機種は下図の様に並んでいます

スイッチ操作
▲（UP）◀（LEFT）

車速
油圧
水温
油温
温度 -1
温度 -2
排気温度
燃圧
電圧
空白

スイッチ操作
▼（DOWN）▶（RIGHT）

4. 各種設定　メインメニュー

⚠ 警告

メインメニューの操作は停車中に行ってください。走行中に操作を行うと前方不注意による事故の原因となります。

各種設定を行う際は、まずメインメニューに入ります。
リアルモードで ENTER スイッチを 2 秒以上押すと、メインメニュー表示になります。UP, DOWN スイッチでカーソルを移動し、ENTER または RIGHT スイッチで選択します。リアルモードに戻るときは、LEFT スイッチを押すか ENTER スイッチを長押しします。

メインメニュー
⚠ ワーニング設定
SD カード
セットアップモード
ワーニング設定を行います ENTER ▶で進みます
▲▼でスクロール
◀ リアルモードへ戻る

確　認

メインメニュー、ワーニング設定、SD メモリーカードメニュー、セットアップ表示中はピーク値の更新を行わず、ワーニング表示も行いません。

4.1. ワーニング設定

機種名	初期値
タコメーター	7000　RPM
ターボ / インマニ	1.0 × 100kPa
油圧	1.5 × 100kPa
水温	100　℃
油温	120　℃
温度 1	120　℃
温度 2	120　℃
排気温度	860　℃
燃圧	1.5　× 100kPa
残燃料	5　ℓ

各機種の初期値は左表のようになります。
車両のコンディションに合わせ設定してください。
初期値は一般的な目安であり、装着車両やコンディションによってワーニング設定は異なります。

⚠ ワーニング設定モード
エンジン回転数　5500 RPM
ターボ・インマニ　1.0 ×100kPa
油圧　1.2 ×100kPa
1. ▲▼でスクロール
2. ENTER ▶で選択
3. ▲▼で設定変更
4. ENTER ▶で決定
5. ◀メニューモードへ戻る

UP, DOWN スイッチでワーニング設定値を変更したい表示項目にカーソルを移動し ENTER スイッチまたは RIGHT スイッチを押します。

⚠ ワーニング設定モード
エンジン回転数　7500 RPM
ターボ・インマニ　1.0 ×100kPa
油圧　1.2 ×100kPa
1. ▲▼でスクロール
2. ENTER ▶で選択
3. ▲▼で設定変更
4. ENTER ▶で決定
5. ◀メニューモードへ戻る

UP, DOWN スイッチで値を変更し、ENTER スイッチで決定します。
（UP, DOWN スイッチを長押しすると設定値が速く変化します。）

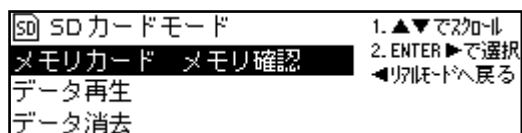
⚠ ワーニング設定モード
エンジン回転数　7500 RPM
ターボ・インマニ　1.0 ×100kPa
油圧　1.2 ×100kPa
1. ▲▼でスクロール
2. ENTER ▶で選択
3. ▲▼で設定変更
4. ENTER ▶で決定
5. ◀メニューモードへ戻る

ワーニング設定を終了する場合は、LEFT スイッチを押すとメインメニューに移行し、ENTER スイッチを長押しするとリアルモードに移行します。

確　認

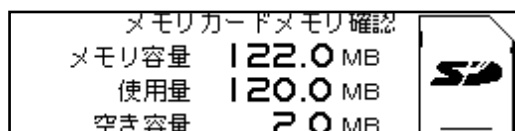
油圧、燃圧、燃料はワーニング設定値以下でワーニング状態となります。その他はワーニング設定値以上でワーニング状態になります。
油圧のワーニングはエンジン回転数で制御できます。（4.3.13. 参照）
燃圧はエンジン停止時はワーニング表示されません。

4.2 SD メモリーカード（SD メモリーカードは市販品をご用意ください）◆

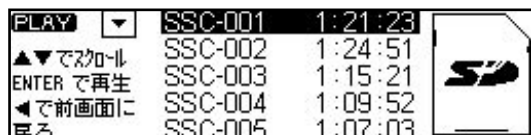
SD カードモード
メモリカード　メモリ確認
データ再生
データ消去
1.▲▼でスクロール
2.ENTER ▶で選択
◀リアルモードへ戻る

メインメニューで SD メモリーカードを選択すると SD カードモードに移行します。
SD カードモードでは SD メモリーカードのメモリー容量、使用量、空き容量の確認、DSSC 走行データの再生、走行データファイルの削除ができます。

4.2.1. メモリーカード　メモリー確認

SDメモリーカードの容量、使用量、空き容量が確認できます。

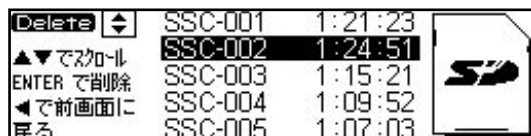
メモリカードメモリ確認
メモリ容量　122.0 MB
使用量　120.0 MB
空き容量　2.0 MB

SD カードモードのメモリーカードメモリー確認にカーソルを合わせ ENTER スイッチまたは RIGHT スイッチを押すと SD カードモード確認画面に移行します。ENTER スイッチまたは LEFT スイッチを押すと SD カードモードへ戻ります。

4.2.2. データ再生

SDメモリーカードに記録したデータを DSSC メーターでプレイできます。

SD カードモードのデータ再生にカーソルを合わせ、ENTER スイッチまたは RIGHT スイッチを押すとデータ再生画面に移行します。UP, DOWN スイッチでプレイしたいデータにカーソルを移動し ENTER スイッチを押すとプレイモードに移行します。

4.2.3. データ消去

SD メモリーカードに記録したデータを削除します。

Delete
▲▼でスクロール
ENTER で削除
◀で前画面に戻る
SSC-001 1:21:23
SSC-002 1:24:51
SSC-003 1:15:21
SSC-004 1:09:52
SSC-005 1:07:03

SD カードモードのデータ消去にカーソルを合わせ、ENTER スイッチまたは RIGHT スイッチを押すとデータ消去画面に移行します。UP, DOWN スイッチで削除したいデータにカーソルを移動し ENTER スイッチを押すと選択されたデータが削除されます。

確　認

1 回の記録での最大記録時間は 9 時間 59 分 59 秒です。ただし、記録途中で SD メモリーカードの残り容量がなくなった場合は、途中で記録が終了します。1MB 当たり、約 9 分記録できます。
SD メモリーカードが入っていない場合または、容量がない場合は記録できません。
SD メモリーカード内のファイル数、使用容量が大きくなりますと、SD メモリーカードの読み込みなどの処理時間が遅くなります。
64MB 以下の SD メモリーカードで、50 個以下のファイル数でご使用いただくと快適にご使用いただけます。
1GB より大きい SD メモリーカードはご使用できません。マルチメディアカードはご使用できません。
SD メモリーカードの抜き差しはイグニッションキー OFF 時に行ってください。イグニッションキー ON 時に抜き差しすると、SD メモリーカード内のデータが破損する場合や SD メモリーカードを認識できない場合があります。
SD メモリーカードをご使用の際は必ず FAT または FAT16 でフォーマットされた物をご使用下さい。
他のフォーマット形式でフォーマットされた SD メモリーカードをご使用になりますと、正常に動作しません。
(FAT32 には対応しておりません。※PC でフォーマット形式を選択し FAT または FAT16 フォーマットでフォーマットしてください。
当社にて動作確認を行った SD メモリーカード情報については Defi ホームページ
(http://www.nippon-seiki.co.jp/defi) をご覧ください。

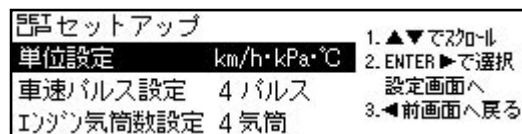
メモリー容量と記録可能時間　※1 回の記録での最大記録時間は 9 時間 59 分 59 秒です。

8MB	約 1.1 時間
16MB	約 2.2 時間
32MB	約 4.5 時間
64MB	約　9　時間
128MB	約 1 8 時間
256MB	約 3 6 時間
512MB	約 7 2 時間
1GB	約144 時間

4.3. セットアップ

⚠警告

メインメニューの操作は停車中に行ってください。走行中に操作を行うと前方不注意による事故の原因となります。

セットアップ
単位設定　km/h･kPa･℃
車速パルス設定　4 パルス
エンジン気筒数設定　4 気筒
1.▲▼でスクロール
2.ENTER ▶で選択設定画面へ
3.◀前画面へ戻る

UP, DOWN スイッチで設定を変更したい項目にカーソルを移動しENTER スイッチまたは RIGHT スイッチを押すと、各設定画面になります。

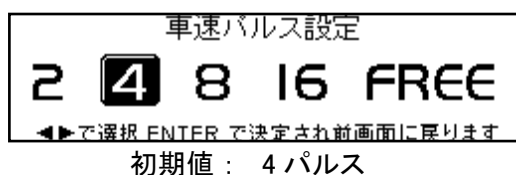
4.3.1. 単位設定

初期値：　kPa、℃、km/h

RIGHT, LEFT スイッチで設定したい単位系にカーソルを移動しENTER スイッチで決定します。

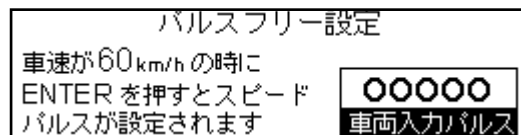
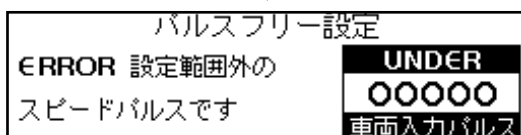
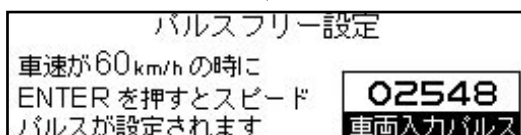
4.3.2. 車速パルス設定▼

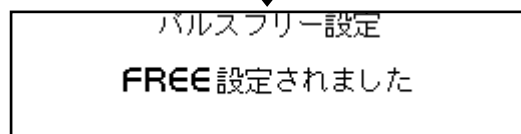
4.3.2.1.　2. 4. 8. 16パルス設定

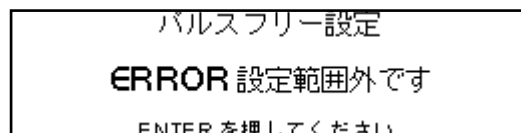
初期値：　4 パルス

RIGHT, LEFT スイッチで設定したいパルス数にカーソルを移動しENTER スイッチで決定します。FREE を選択した場合は、パルスフリー設定に移行します。

車両の車速パルスにあったパルス数を設定してください。取付説明書のメインユニットディップスイッチ設定、ロータリースイッチ設定を併せて設定してください。車両のパルス数が 2, 4, 8, 16 以外の場合や、パルス数が分からない場合は FREE を選択して設定できますが、設定可能範囲は 1274 ～ 16562 パルス /km（2 ～ 26 パルス相当）です。

4.3.2.2. パルスフリー設定▼

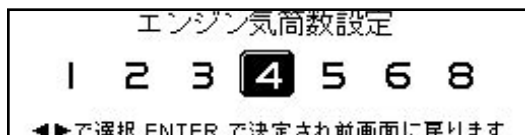
⚠警告　パルスフリー設定は車両をシャーシダイナモに載せて行ってください。
走行中に操作すると前方不注意による事故の原因となります。

車速が 60km/h の時に ENTER スイッチを押すと設定されます。
車両入力パルスには 1 分間当たりのパルス数が表示されます。

車速を入力していない状態ではエラー表示されます。

設定可能範囲のパルスを入力すると左図のように表示されます。

パルスフリー設定
FREE 設定されました

正常に設定された場合は左図が表示されます。

パルスフリー設定
ERROR 設定範囲外です
ENTER を押してください

パルスフリー設定範囲外で ENTER スイッチを押すと、
エラー表示になります。

確　認　車速パルス設定は必ず行ってください。正確に設定しないとオドメーターに誤差が出ます。

4.3.3. エンジン気筒数設定▼

エンジン気筒数設定
1 2 3 4 5 6 8
◀▶で選択 ENTER で決定され前画面に戻ります

RIGHT, LEFT スイッチで車両にあった気筒数にカーソルを移動し ENTER スイッチで決定します。

初期値： 4 気筒

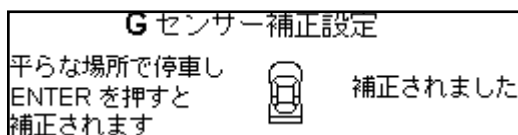
確　認

エンジンコンピューターの車速信号、エンジン回転数信号の取り出し位置は、
最新の情報を Defi Web サイトに掲載していますのでご参照ください。(http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/)

4.3.4. G センサー補正設定（本設定はオプションの G センサーが必要となります。）▼★

G センサーのゼロ点補正を行います。平らな場所で停車し、ENTER スイッチを押すと補正されます。G センサーを接続している場合は必ず行ってください。

4.3.5. ウォームアップ設定

ウォームアップ設定
WATER T. | OIL.T | TEMP-1 | TEMP-2 | OFF
40℃
◀▶で選択▲▼調整 ENTERで決定され前画面に戻る

ウォームアップ動作（暖機状態表示）を行う条件を設定します。
RIGHT, LEFT スイッチで機種または OFF いずれか一つを選択し、UP, DOWN スイッチで温度を設定し ENTER で決定します。

初期値：水温、40℃ （油温、TEMP1、TEMP2 初期設定値 40℃）

水温 40℃で設定すると設定温度に達するまで、リアルモード、レックモード、ピークモードでウォームアップ動作（機種タイトルが点滅）を行います。

4.3.6. オートワーニング設定

RIGHT, LEFT スイッチで設定したい ON/OFF にカーソルを移動し ENTER スイッチで決定します。
オートワーニング設定 ON の場合
ワーニング発生時に自動的にワーニングモードへ移行します。

初期値　：　ON

4.3.7. ワーニングブザー設定

初期値　:　ON

RIGHT, LEFT スイッチで ON/OFF を選択し、ENTER で決定します。
ON に設定するとワーニングが発生した場合にブザーが鳴ります。
※操作音は消す事は出来ません。
タコワーニング時はピピピピ（断続音）と鳴り、その他のワーニングはピー（連続音）と鳴ります。残燃料警告時はブザーは鳴りません。

4.3.8. オートディマー設定

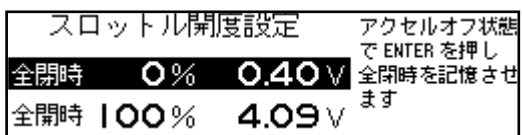
初期値　:　オート

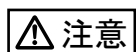
ディスプレイの明るさを自動で調整するか、手動で調整するかを設定します。
RIGHT, LEFT スイッチでオート / マニュアルを選択し、ENTER で決定します。
ディスプレイ表示輝度調整の詳細については 3.1.3. ディスプレイ表示輝度を調整するにはを参照してください。

4.3.9. スロットル開度設定▼

⚠警告

スロットル開度設定はエンジンが停止している状態で設定してください。エンジン動作中に設定すると全開時の設定でエンジン回転数が非常に高くなる場合があり、エンジン破損の恐れがあります。

スロットル開度設定
全閉時　0%　0.40V
全開時　100%　4.09V
アクセルオフ状態で ENTER を押し全閉時を記憶させます

初期値　:　0.00 ～ 5.00V

スロットル信号の設定を行います。
全閉時の設定はアクセルオフで ENTER スイッチを押します。
全開時の設定はアクセルを奥まで踏み込んで ENTER スイッチを押します。

⚠注意

車両によっては全閉時、全開時の電圧が一定にならない場合があります。

4.3.10. コントロールアウト設定

▼ コントロールアウト設定
× 水温 100 ～ 150 ℃ AND
× 油温 100 ～ 150 ℃ OR
×ｽﾛｯﾄﾙ開度 100 ～ 100 % OFF

初期値： OFF

コントロールアウトの設定を行います。コントロールアウト設定で設定した条件を満たすと、メインユニットのコントロールアウトからON 信号が出力されます。

⚠ 注意 コントロールアウトの作動表示はありません。

表示（● ， ×）説明
●：条件設定されている
×：条件設定されていない

条件（AND、OR、OFF）説明
AND ： 選択した条件（●）をすべて満たしたら ON 出力
OR ： 選択した条件（●）を一つでも満たしたら ON 出力
OFF ： コントロールアウト機能を使用しない

例）ラジエターファンコントロールとして使用する場合、以下の条件での設定方法
水温（アッパーホース） 85 ～ 110℃
タコ 5000rpm 以上
スロットル開度 90 ～ 100%
条件： AND （全ての条件を満たしたら ON 出力）

UP, DOWN, RIGHT, LEFT でカーソルが動きます。
水温、エンジン回転数、スロットル開度でそれぞれ ENTER スイッチを押すと×が●に変わります。

⇕ コントロールアウト設定
● 水温 85 ～ 110 ℃ AND
× 油温 100 ～ 150 ℃ OR
×ｽﾛｯﾄﾙ開度 100 ～ 100 % OFF

水温、エンジン回転数、スロットル開度の数値にそれぞれカーソルを合わせ ENTER スイッチを押すと、数値が反転表示されますので、UP,DOWN スイッチで設定したい数値にします。

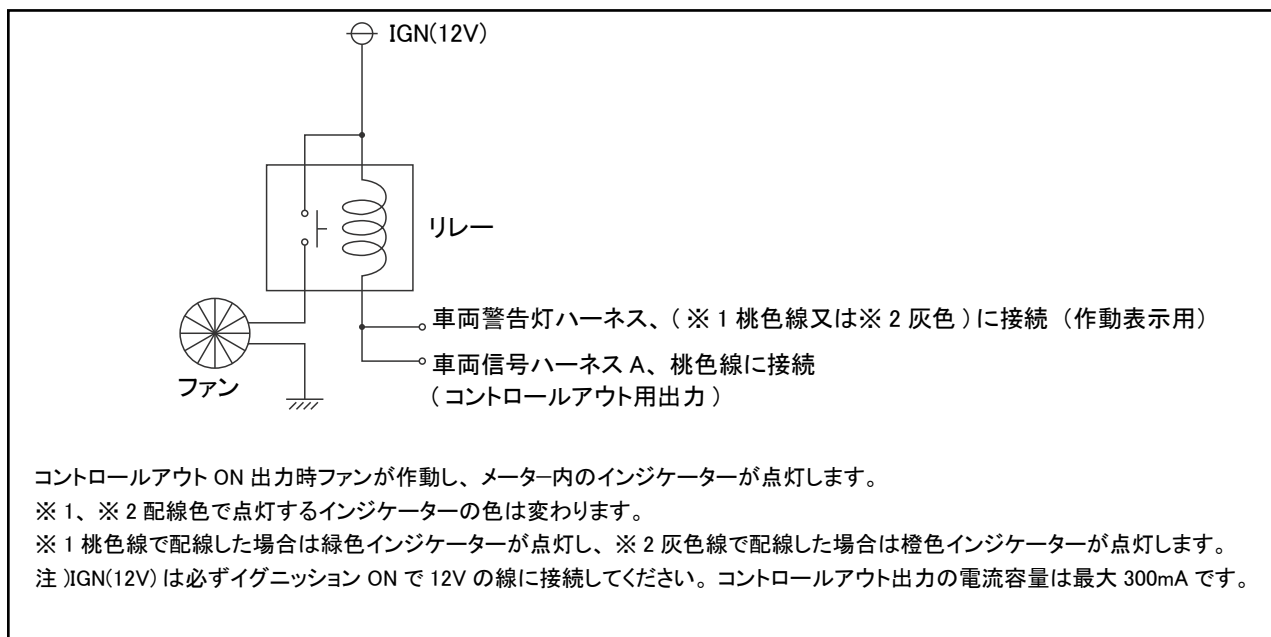
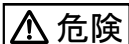
⇕ コントロールアウト設定
× 油温 100 ～ 150 ℃ AND
●ｽﾛｯﾄﾙ開度 90 ～ 100 ℃ OR
● タコ 5000 RPM OFF

カーソルを AND の位置に合わせ、ENTER スイッチを押して設定完了です。

ラジエターファンコントロールとして使用する場合の配線接続例 ▼（取付業者様へ）

コントロールアウト ON 出力時ファンが作動し、メーター内のインジケーターが点灯します。
※1、※2 配線色で点灯するインジケーターの色は変わります。
※1 桃色線で配線した場合は緑色インジケーターが点灯し、※2 灰色線で配線した場合は橙色インジケーターが点灯します。
注)IGN(12V) は必ずイグニッション ON で 12V の線に接続してください。コントロールアウト出力の電流容量は最大 300mA です。

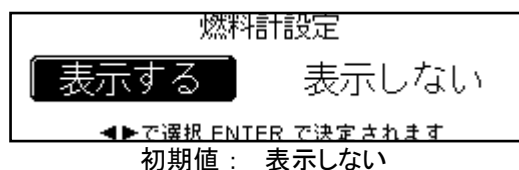
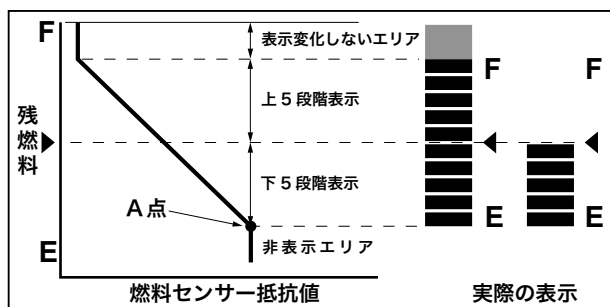
4.3.11. 燃料計設定▼

⚠危険

燃料計設定を行うときはガソリンを使用しますので、火気には十分に注意して複数人で作業してください。
必ず消火器を準備して行ってください。

確　認

燃料タンク形状やフューエルセンサー特性等により燃料計の表示は変化します。
表示値は参考値として早めに給油をしてください。

燃料計設定
表示する　表示しない
◀▶で選択 ENTER で決定されます

初期値：　表示しない

燃料計の設定を行います。
『表示する』を選択した場合は燃料タンクの設定に進み、『表示しない』を選択すると戻ります。

【燃料表示仕様】

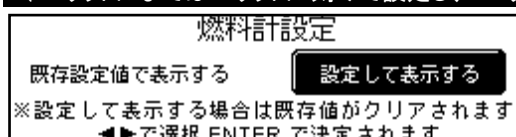
図の様に一般的な燃料センサーは満タン、空付近では燃料センサーの抵抗値は変化しません。

A 点はタンク形状やセンサー特性により異なります。

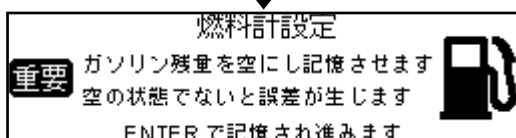
※残燃料警告設定値を A 点より低く設定した場合はこのポイントになった時点で EMPTY 表示されます。

車両の燃料タンク満タンの 1/4 程度になるまでは 1 リットル刻みで給油することを推奨します。

例) 55 リットルタンクの車で燃料計を設定する
（10 リットルまでは 1 リットル刻みで設定し、10 リットル以上は 5 リットル刻みで設定する場合 ）

燃料計設定
既存設定値で表示する　設定して表示する
※設定して表示する場合は既存値がクリアされます
◀▶で選択 ENTER で決定されます

初めて燃料計を表示させる場合は必ず『設定して表示する』を選択してください。以前に設定したデータを使用して表示する場合は『既存設定値で表示する』を選択します。

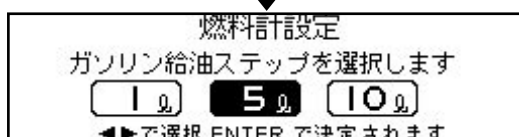
↓

燃料計設定
重要　ガソリン残量を空にし記憶させます
空の状態でないと誤差が生じます
ENTER で記憶され進みます

ガソリンが空の状態を記憶させます。タンクが空の状態で ENTER スイッチを押してください。
(燃料ポンプを動作させて空にする方法が比較的やりやすいです。）

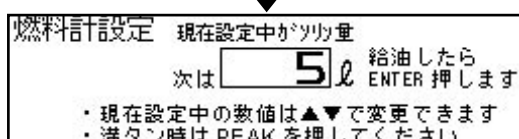
↓

燃料計設定

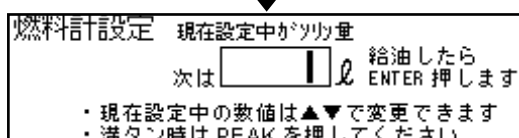
ガソリン給油ステップを選択します

1ℓ　5ℓ　10ℓ
◀▶で選択 ENTER で決定されます

RIGHT、LEFT スイッチで何リットル毎に設定するかを選択し ENTER スイッチを押します。ここでは 5 リットルステップを選択しています。少ないリットル数で設定すると、より正確になります。
※ステップ値は途中で変更することはできません。

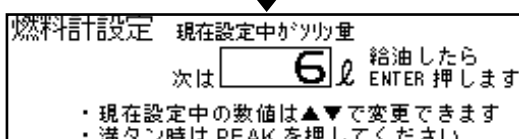
↓

燃料計設定　現在設定中ｶﾞｿﾘﾝ量
次は 5ℓ　給油したら ENTER 押します
・現在設定中の数値は▲▼で変更できます
・満タン時は PEAK を押してください

現在設定中の合計ガソリン量が表示されます。ステップで 5 リットルを選択したので 5 リットルと表示されていますが、10 リットルまでは 1 リットル刻みで設定するので、1 リットルになるまで DOWN スイッチを押します。

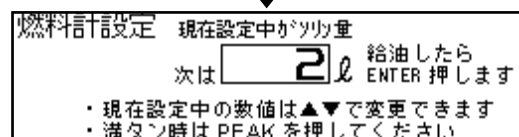
↓

燃料計設定　現在設定中ｶﾞｿﾘﾝ量
次は 1ℓ　給油したら ENTER 押します
・現在設定中の数値は▲▼で変更できます
・満タン時は PEAK を押してください

1 リットル給油したら ENTER スイッチを押します。

↓

燃料計設定　現在設定中ｶﾞｿﾘﾝ量
次は 6ℓ　給油したら ENTER 押します
・現在設定中の数値は▲▼で変更できます
・満タン時は PEAK を押してください

前回設定したガソリン量 (1 リットル) に選択したステップ値 (5 リットル) をプラスした数値 (6 リットル) が表示されます。

↓

燃料計設定　現在設定中ｶﾞｿﾘﾝ量
次は 2ℓ　給油したら ENTER 押します
・現在設定中の数値は▲▼で変更できます
・満タン時は PEAK を押してください

6 リットルと表示されますが、DOWN スイッチで 2 リットルまで下げます。このとき、前回設定したガソリン量プラス 1 まで下げることができます。

↓

燃料計設定　現在設定中ｶﾞｿﾘﾝ量
次は 7 ℓ 給油したら ENTER 押します
・現在設定中の数値は▲▼で変更できます
・満タン時は PEAK を押してください

合計 2 リットル給油して ENTER スイッチを押すと 7 リットルと表示されます。DOWN スイッチを押して、前回同様に 1 リットル毎に設定します。

燃料計設定　現在設定中ｶﾞｿﾘﾝ量
次は 10 ℓ 給油したら ENTER 押します
・現在設定中の数値は▲▼で変更できます
・満タン時は PEAK を押してください

10 リットルで ENTER スイッチを押すと次に 15 リットルと表示されるので、ここからは 5 リットルずつ給油して設定します。

燃料計設定　現在設定中ｶﾞｿﾘﾝ量
次は 55 ℓ 給油したら ENTER 押します
・現在設定中の数値は▲▼で変更できます
・満タン時は PEAK を押してください

55 リットル (満タン) になったら PEAK スイッチを押します。

燃料計の設定が完了しました

燃料計の設定完了です。
※燃料計設定を途中でやめたい場合は ENTER スイッチを 2 秒以上長押しします。

4.3.12. リンク設定

リンク設定
Defi-Link Display VSD CONCEPT
ENTER で確認され前画面に戻ります

メインユニットの Defi-Link OUTPUT には Defi-Link Display VSD CONCEPT(DF05701) が接続できます。
ENTER で確認され前画面に戻ります。

確　認

メインユニットの Defi-Link OUTPUT には Defi-Link Display VSD CONCEPT 1 台のみ接続可能です。
Defi-Link Display VSD CONCEPT に他の製品をリンクさせて使用している場合はリンクさせているメーターを取り外してから接続してください。

4.3.13. 油圧ワーニング制限設定

油圧ワーニング制限設定
エンジン回転 3000 RPM 以上で
油圧ワーニング出力します
▲▼で選択 ENTER で決定されます

初期値：　3000rpm

油圧がワーニング状態であっても、エンジン回転数が設定値未満であれば油圧ワーニングが表示されずブザーも鳴りません。
UP, DOWN スイッチで設定するエンジン回転数を上下し、ENTER スイッチで決定します。
常に油圧ワーニングを発生させたい場合は 0RPM に設定してください。

4.3.14.オートレック設定

オート REC 設定

OFF
◀▶で選択 ENTER で決定されます

初期値：　ON

オートレック設定を ON にすると、5km/h 以上の車速信号入力があった場合に自動的にレックモードに移行し、ラップカウントをスタートします。RIGHT, LEFT スイッチで ON/OFF を選択し、ENTER スイッチで決定します。

確　認

SD メモリーカードが正常に記録できる状態でないと動作しません。

4.3.15.舵角センサー設定▼◆

舵角センサー設定
左フルロック 0.50V
右フルロック 4.50V
ステアリングを左に一杯に切った状態で ENTER を押し左フルロックを記憶させます

初期値：　0.00 ～ 5.00V

舵角センサーの設定を行います。
左フルロックの設定はステアリングを反時計方向へ一杯に切った状態で ENTER スイッチを押します。右フルロックの設定は時計方向へ一杯に切った状態で ENTER スイッチを押します。

確　認

当社では舵角センサーの製造・販売は行っておりません。市販の舵角センサーを使用し、センサー付属の取扱説明書に従ってお取り付けください。

4.3.16. ペダルストローク設定▼◆

ペダルストローク設定
OFF時　0%　1.20V
ON時　100%　3.80V
ペダルを一杯に踏み込んだ状態でENTERを押し全開時を記憶させます

初期値：　0.00 ～ 5.00

ペダルストロークセンサーの設定を行います。
OFF 時の設定はペダル OFF の状態で ENTER スイッチを押してください。ON 時の設定はペダルを奥まで踏み込んだ状態で ENTER スイッチを押してください。

確　認

当社ではペダルストロークセンサーの製造・販売は行っておりません。市販のペダルストロークセンサーを使用し、センサー付属の取扱説明書に従ってお取り付けください。

4.3.17.LAP マグネット設定◆

LAP マグネット設定
コース上のマグネット数を設定します　1 個
▲▼で選択 ENTER で決定され前画面に戻ります

初期値：　1 個

クローズドコース 1 周のマグネット数を設定します。
UP,DOWN スイッチを押してマグネット数を選択し、ENTER スイッチを押してください。

確　認

LAP 計測には市販品 P-LAP Ⅱ （ティエージー・アミ株式会社製）が別途必要です。
コース上のマグネットセンサーは、縁石などを走行した場合に反応しない場合があります。
この場合は実際の走行ライン上で反応するマグネット数を設定してください。

4.3.18. オールゲージ画面設定

オールゲージ画面設定
OFF
◀▶で選択 ENTER で決定され前画面に戻ります

初期値：　ON

オールゲージ画面を表示するか表示しないかを設定します。
RIGHT, LEFT スイッチで ON/OFF を選択し、ENTER で決定します。
（3.6. 表示画面切り替え参照）

確　認

ワーニングモード、ピークモードはオールゲージ表示設定の ON/OFF に関わらず、オールゲージ表示されます。

5. エラー表示

5.1. センサーオープン、センサーショート

FUEL P. OPEN
OIL P. 5.8 ×100 kPa 40 km/h
TRIP 1234km ODO 003614km

イグニッションキー ON 時に正常だったセンサーが、途中でセンサーオープンになった場合に OPEN 表示されます。イグニッションキー ON 時からオープンだったセンサーは×表示されます。

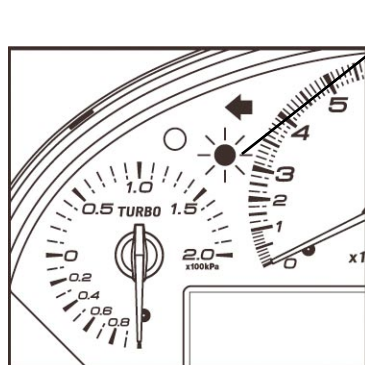
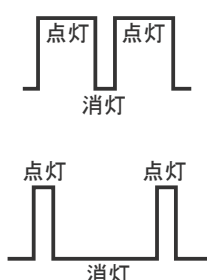
FUEL P. SHORT
OIL P. 5.8 ×100 kPa 40 km/h
TRIP 1234km ODO 003614km

センサーがグランドとショートしている場合に SHORT 表示されます。

ターボ（インマニ）センサーがオープン、ショートになった場合はディスプレイには表示されず、メーター文字板のターボ（インマニ）のワーニングインジケーターが点滅します。

ターボ（インマニ）ワーニングインジケーター

点灯 点灯
消灯

点灯 点灯
消灯

「断線 (オープン) チェック機能」
この機能は、センサー及びセンサーハーネスの断線、配線抜け、誤配線があった場合を知らせるものです。指針は真下を示し、ターボ計 (インマニ) インジケーターが点滅します。

「短絡 (ショート) チェック機能」
この機能は、センサー及びセンサーハーネス上のどこかで短絡 (ショート) があった場合指針は真下を示し、ターボ計 (インマニ) インジケーターが等間隔点滅します。

センサーオープン、ショートが発生した場合は、センサーの防水コネクター、ハーネスの防水コネクター内に水が侵入していないかをご確認ください。防水コネクターに異常がなければセンサーの故障が考えられます。
Defiお客様相談室までご相談ください。

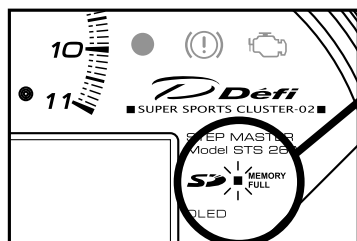
確　認 エンジン回転数信号にはオープン、ショートチェック機能はありません。

5.2. シリアル通信エラー

⚠ 通信エラー
・メーターとメインユニット間の通信エラーです
・車両を安全な場所へ停車してください
・マニュアルを参照してください

メーターとメインユニットの間で通信エラーが発生した場合に表示されます。

シリアル通信エラーが発生した場合は、イグニッションキー OFF した状態で、メーターとメインユニット間を接続しているメーターハーネスに断線や接触不良がないか確認してください。異常がなければ再度イグニッションキー ON し、動作確認をしてください。再度、通信エラー表示が出るようでしたら、Defiお客様相談室までご相談ください。

5.3. SD メモリーカードエラー

メーター本体内 SD カードメモリーインジケーター

メーター本体内 SD メモリーカードインジケーターは
以下の各エラー発生時に点滅又は点灯します。

5.3.1. SD メモリーカード未挿入エラー

・イグニッションキー ON 時に SD メモリーカードが入っていない場合、または途中で SD メモリーカードが抜かれた場合に表示されます。
・メーター本体内 SD メモリーカードインジケーターは 10 秒間点滅します（点滅は 1 秒に 1 回）。

5.3.2. SD メモリーカード初期化要エラー

・ご使用中の SD メモリーカードにフォーマットが必要な場合に表示されます。DSSC で使用する SD メモリーカードは FAT または FAT16 でフォーマットしてください。
※ PC でフォーマット形式を選択し FAT または FAT16 フォーマットでフォーマットしてください。
※1GBより大きいSDメモリーカードを入れた場合にも表示されます。
・メーター本体内 SD メモリーカードインジケーターは 10 秒間点滅します（点滅は 1 秒に 1 回）。

5.3.3. SD メモリーカード容量無しエラー

・SD メモリーカードの残り容量がない場合に表示されます。
残り容量がある SD メモリカードに差し替えてご使用いただくか、SD カードモードでファイルを削除してご使用ください。
もしくは PC に待避するなどして容量を確保してください
（約 1MB 以上）。
・メーター本体内 SD メモリーカードインジケーターは点灯します。

5.3.4. SD メモリーカード残り容量少エラー

・SD メモリーカードの残り容量が少ない場合（約 1MB 以下）に表示されます。残り容量がある SD メモリーカードに差し替えてご使用いただくか、SD カードモードでファイルを削除してご使用ください。
・メーター本体内 SD メモリーカードインジケーターは点滅します（点滅は 1 秒に 2 回）。

5.3.5. SD メモリーカード書き込み禁止エラー

・SD メモリーカードの書き込み禁止ロックがされている場合に表示されます。SD メモリーカードに記録する場合は書き込み禁止ロックを解除してご使用ください。
・メーター本体内 SD メモリーカードインジケーターは 10 秒間点滅します（点滅は 1 秒に 1 回）。

5.3.6. SD メモリーカードファイルエラー

・SSC00999.dat が Defi フォルダ内にあるとそれ以上記録できませんので、SSC00999.dat を含め、PC などでデータファイルを待避してご使用ください。
・メーター本体内 SD メモリーカードインジケーターは 10 秒間点滅します（点滅は 1 秒に 1 回）。

6. 故障かな？と思ったら・・・（トラブルシューティング）

⚠ 警告

メーターに異常を感じたら、必ず点検をして異常がないことを確認してください。
さもないと、重大な事故が発生する恐れがあります。

※対処方法の実施は▼取付業者様にて行ってください。

症状	考えられる原因	対処方法
・圧力、温度の指示値が安定しない。	・コネクタの接続が不完全 ・センサー不良	・各接続箇所のコネクタ接続を確認ください。 ・取付け業者に取付け確認を依頼してください。
・実際の圧力や温度と異なる値を指示したまま変化しない。	・コネクタの接続が不完全 ・センサー不良	・各接続箇所のコネクタ接続を確認ください。 ・取付け業者に取付け確認を依頼してください。
・ターボ / インマニ計がイグニッションキー ON でエンジンをかけない状態で 0 を指さない。	・コネクタの接続が不完全 ・センサー不良	・各接続箇所のコネクタ接続を確認ください。 ・取付け業者に取付け確認を依頼してください。
・ワーニング設定値とは異なった値でワーニングが点灯する。 ・指示が異常な値を示す。	・各ハーネス類が点火信号、無線等のノイズを拾っている。	・ノイズ等が発生しやすい場所を避けてセンサーハーネスを引き直してください。
・タコメーターが正常に動作しない。 ・タコメーターの回転数が合わない。	・気筒数設定が間違っている。	・P21 参照して気筒数設定をやり直してください。
・ゲージエリアが空白で表示がない。	・表示機種設定で空白を設定している。	・P17 参照して表示機種を切り替え直してください。
・車速表示が純正メーターと合わない。	・車速パルスの取り出し位置の誤り。 ・車速パルス設定が間違っている。 ・車速入力設定用ディップスイッチの設定が間違っている。 ・車速入力設定用ロータリースイッチの設定が間違っている。	・車速パルス取り出し位置を確認ください。 ・P20 参照して車速パルス設定をやり直してください。 ・別紙取付け説明書を参照してディップスイッチ設定をやり直してください。 ・別紙取付け説明書を参照してロータリースイッチ設定をやり直してください。
・ターボ計の負圧が動かない。	・センサー取付け位置が不適当。	・サージタンクとフェーエルプレシャーレギュレーターの間にソレノイドバルブがある車種はソレノイドの手前にスリーウエイジョイントを付けてください。
・ピーク値が異常な数値を示す。	・コンデンサ容量が大きいペダルストロークセンサーを使用している。	・Defi お客様相談電話へお問い合わせください。
・センサーオープン、ショートが発生した。	・コネクターの接続不良。 ・センサー不良。	・各接続箇所のコネクタ接続を確認ください。 ・取付け業者に取付け確認を依頼してください。
・ターボ / インマニ計の指示が異常な数値を示す。	・センサー不良。	・センサーに水がかかりにくい場所に取付けてください。 ・取付け業者に取付け確認を依頼してください。

デジタル表示部の各種エラーメッセージ及びターボ（インマニ）ワーニングインジケーターの点滅につきましては「5. エラー表示」を参照ください。

7. アフターサービスについて

本製品を使用されて発生した違反、事故などに関するもの、誤配線など本製品の、製造不良以外による
車両トラブルについては一切責任を負いかねます。

【保証書】

本製品は保証書の内容に従って保証されていますので、よくお読みになり記入事項をご確認の上、大切に
保管してください。

【保証期間】

ご購入から 1 年です。詳細は別紙保証書規程をご覧ください。

【修理をご依頼される時】

⚠ 警告

危険ですからご自分で修理しないでください。故障や事故の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。

1） 修理をご依頼される前にこの取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の表に従って調べていただき、
それでも直らない時は （2） の処理をしてください。

2）「ご購入いただいた販売店」にご相談ください。転居などで販売店への依頼が困難な場合は、日本精機㈱
（ 電話番号は、保証書内に記載 ）にご相談ください。

※保証期間中の場合、修理品には必ず保証書を添付してください。

※保証期間中であっても、修理品の輸送にかかる運送費はお客様のご負担となります。

※故障と思われる症状、車種（ 年式、型式 ）販売店名などをできるだけ詳しくお書きください。

8. オプションパーツリスト

■オプションパーツ	品番
排気温度センサーセット(DSSC) センサー（50cm）・センサーハーネス（2.5m）・フィッティング（1/8PT）	PDF06001SS
ターボセンサー延長ハーネス(DSSC) （1m）	PDF06002H
データロガーセット データロガーソフト・Gセンサー・車両信号ハーネスB	発売予定
Defi-Link Indicator	DF01801
Defi-Link Indicator Ⅱ	DF05801
圧力センサー延長ハーネス（1m）	PDF 06013H
圧力センサー延長ハーネス（2m）	PDF00707H
温度センサー延長ハーネス（1m）	PDF06014H
温度センサー延長ハーネス（2m）	PDF00906H
排気温度センサー延長ハーネス（2m）	PDF01107H
圧力センサー	PDF00703S
温度センサー	PDF00903S

■別途購入が必要な市販品（標準構成の場合）
センサーアタッチメント （圧力センサー用 1ヶ、温度センサー用 2ヶ）

※オプションセンサーをお取付けの際は上記以外にもセンサーアタッチメントが必要になります。

■別途任意で購入していただく市販品 市販品をご利用になる場合は市販品の取扱説明書を参考にしてください。
P-LAP Ⅱ（ティエージー・アミ株式会社製）
舵角センサー、ペダルストロークセンサー(センサー出力が0〜5Vの範囲であれば使用可能)
センサーアタッチメント(オプションパーツとして圧力センサー・温度センサーを購入した場合)
データ記録用SDメモリーカード(記録時間の目安は1MBで約9分)

製造元

NS 日本精機株式会社

Defi お客様相談室／〒 110-0005

東京都台東区上野 1-15-4
上野 DK ビル 8F
TEL (03) 3835-3639
FAX (03) 3834-8116